

# 呼吸活性システム BOD 測定ソフトでのエラーについて

2026年04月14日版

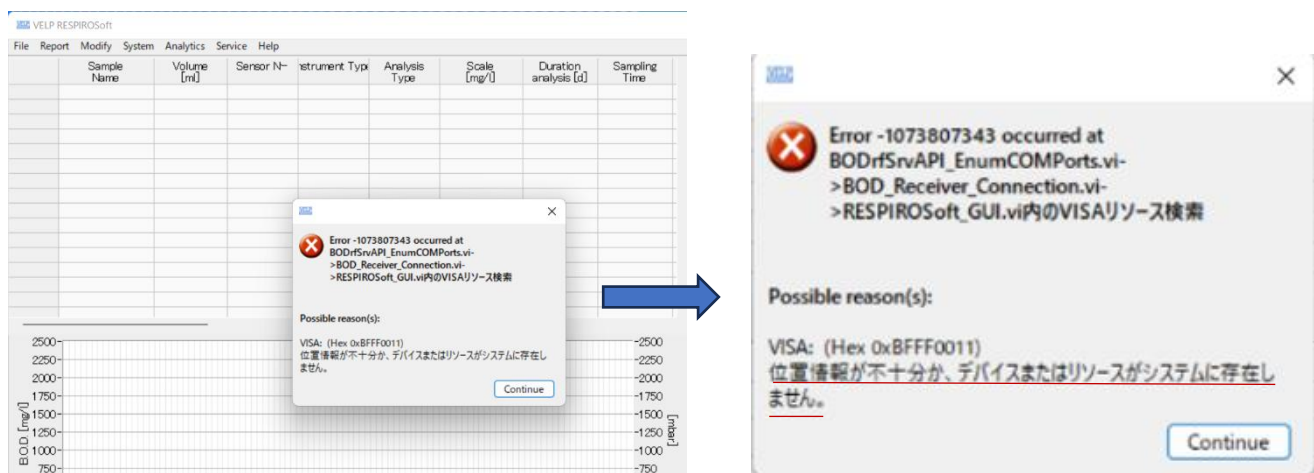
## 01.エラーについて



専用ソフトのインストール後の初回立ち上げ時に、ポップアップするデータを保存する画面で

ファイルに名前を付けて必ず作成をして下さい。(作成しない場合は予期せぬエラーが発生します)

### 以下のポップアップエラーが発生した場合



お問い合わせで連絡を頂くケースが多いエラーです。

#### 1-1.発生する主な原因

- FTDI ドライバーが不完全にインストールされている場合、もしくはインストールされていないケース
- FTDI ドライバーをインストールする時に、ワイヤレスデータボックスを付属の USB ケーブルで PC に接続をしていない場合
- FTDI ドライバーをインストール済みでも測定ソフトで認識をさせる時に、ワイヤレスデータボックスが USB で接続を認識していない時
- USB の接続ケーブルが納品時の物では無い(信号をやり取りできるケーブルで無い)場合

#### 1-2.改善しないケース

- USB ケーブルの断線やワイヤレスデータボックスの端子自体の破損 ⇒ ケーブルの交換や BOX の修理が必要です。

#### 1-3.エラーの解消

PC でワイヤレスデータボックスを認識させるドライバーのインストールや Windows update が必要です。

※USB を差す位置が変わった場合でもまれに起こります。変更しても再現する場合はデバイスマネージャーをご確認下さい。

※ソフトの測定中にワイヤレスデータボックスが急に認識が出来なくなったり、ソフトがフリーズする場合は USB ケーブルを差し込み直して、Connect databox のコマンドにて認識が出来るかをご確認下さい。

## 02.ワイヤレスデータボックスを認識させるには

付属ソフトのフォルダーにある FTDI 2.08.14 を選択して FT232R USB UART のドライバーの更新をして下さい。



デバイスドライバーの表示で、赤のラインを引いた場所に黄色三角がでる場合は、動作に必要なデバイスドライバーのインストールが必要です。(順番は FT232R ドライバーを認識させてから USB のドライバーとなります)  
 USB Serial Port の認識には Driver FTDI フォルダー内の 64bit の場合は CDM v2.12.28 WHQL 64 bit のフォルダーを選択してから USB Serial Port のドライバーの更新を実行します。

以下は上のドライバー表記の赤線を右クリックして、ドライバーのタブを選択したポップアップ画面です。



ドライバーが全て更新されるとポート(COMとLPT)の項に USB Serial Port の com 番号が表示されます。  
 ポートの番号は使用する PC により異なります。

この com ポートが表示されない場合は PC で根本的なドライバーがインストールされていないか更新されておられません。  
 Windows アップデートで解決をする場合もございますが、どうしても認識できない場合は別の PC にて運用される事をお勧めします。  
 ※ポートスキャンをするウイルス対策ソフトや、ネットワークに接続するソフトを使用していると測定に不具合が起こるケースが多いです。

### 03.PC の OS が原因で測定が途中で停止してしまう場合 (\* 以下、Windows のバージョンによって画面が少し異なります)

#### 3-1.ソフトウェアで測定を阻害しない設定の再確認として

Windows のモニターや記録媒体の電源・スリープは全て「なし」として下さい。

特に HDD や SSD は休止しないようにお願いします。

休止になると記録が継続できません。また、全てのドライバー類のダウンロードやセットアップが終了しましたら

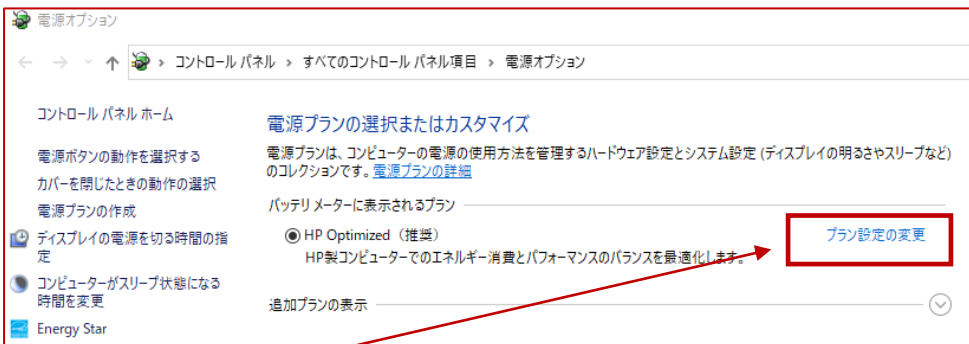
Windows の通知やインターネット等の接続は OFF として下さい。

Windows の割り込みやアップデートによる再起動でソフトウェアが強制終了となり、測定が中断する事があります。

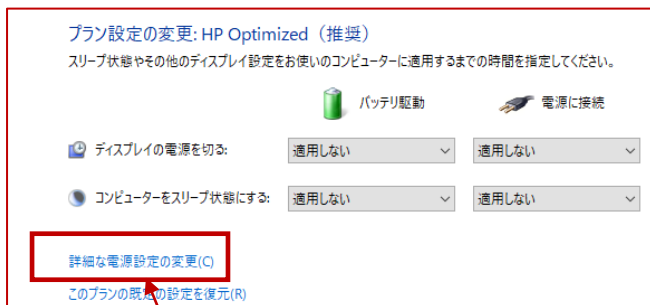
#### 3-2.電源の休止とスリープの設定について



システムの電源とスリープの項を全て「なし」に変更して関連設定の「電源の追加設定」をクリックします。



次に、「プラン設定の変更」を選択して下さい。次の画面でコンピューターをスリープしない(適用しない)に設定します。



「詳細な電源設定の変更」をクリックするとポップアップする、電源オプションの設定を確認します。

測定が途中で中断してしまうというケースは、この設定でデータが一定時間反応しない為に起こる場合がございます。

ハードディスクの設定をクリックしてバッテリー駆動と電源に接続の設定を「なし」になっているか確認をします。

### 3-3.スリープや休止の設定をしていても測定が出来ないケース 高速スタートアップが有効だと発生するケースがございます。



左側のコントロールパネル ホームの下にある「電源ボタンの動作を選択する」を選びます。



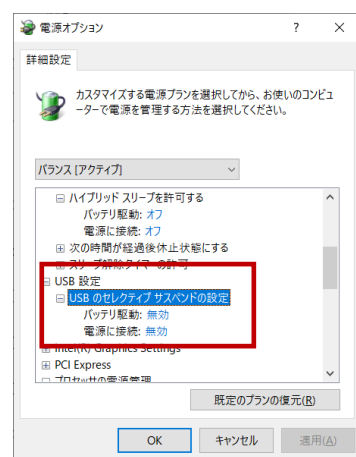
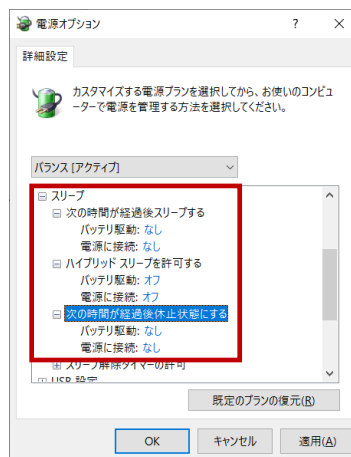
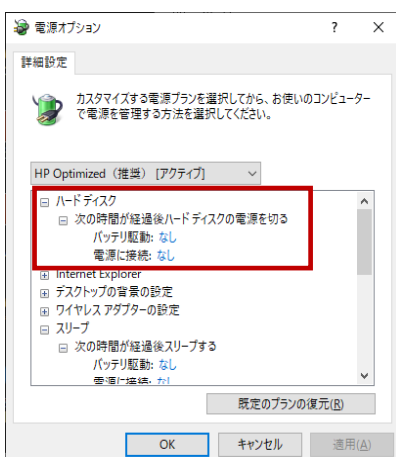
「高速スタートアップを有効にする」のチェックの項目を off にして下さい。

変更が出来ない場合は「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックをして有効にします。

設定の確認をお願いします。

※センサーの測定開始の間隔が短いとソフトへのデータ転送中に次のセンサーの信号が送られた場合、後のセンサーのデータが記録されないという事が起こります。測定開始の間隔は少なくとも約 10 秒程度空けて下さい。

### 3-4.その他 ハードウェアで該当する設定



その他に確認をする設定として、ハードディスクと USB の接続、追加のスリープの設定がございます。

ハードディスクの電源を切る設定を「なし」、スリープの設定を「なし」と「オフ」にして下さい。

USB 設定の USB セレクティブサスペンドの設定を「無効」に変更して下さい。

Windows のアップデートを行うと、今までの設定がクリアされる事がございます。その場合は再度確認して下さい。